



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 26 年 2 月～3 月
3. 出張目的 三要素連用試験、ダイズ施肥試験における植物体のサンプリング及び
バレイショ施肥試験の開始：A

4. 成果の概要

ナンブラ、ムトゥアリ、リシंगाで行っている三要素連用試験、ダイズ施肥試験において植物体のサンプリングを行い、植物体の生長に及ぼす処理の効果を調べた。

鶏糞施用は、ナンブラでは NPK 施用の影響に及ばなかったが、

リシंगाではトウモロコシでは NPK 施用と同程度の生長増大をもたらした。

トウモロコシでは、3 地点とも 3 要素の中で N 欠如による生長抑制が最も大きく見られた。

ダイズでは、3 地点とも K 欠如区での生長が対照区よりも大きく、K 過剰による影響の可能性があった。ダイズのリン酸施肥に対する反応では、60～100kg/ha の範囲に生長の極大値が見られた。バレイショ施肥試験は開始しなかった。